

2011年12月期 第2四半期決算

2011年8月5日

キリンホールディングス株式会社

マネジメントサマリー

■上半期は対前年増益。下半期は来期の成長に向け活動を強化、通期では年初計画並みの収益性を目指す

- 上半期は、東日本大震災をはじめ経営環境が大きく変化する中、国内酒類・国内飲料事業の着実な販売回復や、医薬・バイオケミカル事業の好調等により、グループ全体で堅調な業績を達成
- 通期計画では震災の影響や豪州事業の環境変化等を織り込むが、下半期の販売施策とコストコントロールを一層強化し、年初計画並みの収益性を確保するとともに、来期の成長に向け、より一層のブランド強化とお客様需要創造に取り組む

■質的拡大に向けた課題への取り組みは順調に推移、今期計画の確実な達成へ

- CCTコストシナジー・資産圧縮・事業ポートフォリオの選択と集中といった収益性・効率性向上に向けた取り組みは、計画どおりに進捗。通期計画の完遂を目指す

■東南アジアの成長実現に向けた取り組みと豪州の構造改革を加速

- 東南アジアの飲料事業は、シナジー創出に向けた個別プログラムを一層推進。現地へのスタッフ派遣により、下半期以降での実現に向け取り組みをさらに加速
- 豪州事業では、継続する厳しい市場環境に対し根本策を講じるなど、構造改革をさらに加速

■ブラジル・スキンカリオール社を子会社化

- ブラジル第2位^{※1}のビール事業、第3位^{※2}の炭酸飲料カテゴリーを含む清涼飲料事業を有する大手総合飲料メーカーを連結子会社化
(※1 Euromonitor ※2 Euromonitor. オフトレード・ベース)
- 引き続きアジア・オセアニアを最重点エリアとしながら、将来のさらなる成長に向けて、有望な新興市場の基盤を獲得し、国際総合飲料グループ戦略を推進

第2四半期決算

■営業利益・経常利益・四半期純利益が対前年大幅増益。震災等の影響により減収となるも、国内酒類、国内飲料事業の着実な販売回復に加え、医薬・バイオケミカル事業が好調に推移。上半期はグループ全体で堅調な業績を達成

(単位:億円)

	2011年 第2四半期	前年差	前年増減 (%)
売上高	10,014	△87	△0.9
のれん等償却前営業利益	957	160	20.1
(のれん等償却額)	(228)	(30)	—
営業利益	728	129	21.7
持分法による投資損益	57	△18	△24.8
経常利益	725	162	28.9
特別損益	△123	171	—
税金等調整前四半期純利益	601	333	124.7
法人税等	327	164	100.7
少数株主利益	94	61	187.3
四半期純利益	179	107	150.7

■セグメント別売上高・営業利益 内訳

(単位:億円)

	売上高	営業利益
国内酒類	3,923 (△6.4)	288 (29.0)
国内飲料	1,457 (△12.5)	△10 —
海外酒類・飲料	2,325 (27.6)	114 (△22.1)
医薬・バイオケミカル	1,811 (△9.9)	313 (33.0)
その他	496 (21.0)	31 (△20.4)

※下段:前年増減(%)

通期計画

■通期計画では震災影響による販売減少や豪州事業の環境変化等を折り込むが、下半期の販売施策とコストコントロールを一層強化し、年初計画並みの収益性を確保するとともに、来期の成長に向け、さらなるお客様需要の創造にも取り組む

(単位:億円)

	通期計画 (期央修正)	年初計画 との差異	前年増減 (%)
売上高	21,100	△300	△3.1
のれん等償却前営業利益	1,913	△29	△1.1
(のれん等償却額)	(473)	(50)	—
営業利益	1,440	△80	△5.0
持分法による投資損益	100	△35	6.1
経常利益	1,380	△100	△2.1
特別損益	△80	△90	—
法人税等	618	△134	7.0
少数株主利益	161	4	45.1
当期純利益	520	△60	356.4

■セグメント別営業利益・売上高 内訳 (単位:億円)

	売上高	営業利益
国内酒類	8,780 (9,080)	700 (735)
国内飲料	3,270 (3,420)	40 (55)
海外酒類・飲料	4,680 (4,720)	170 (260)
医薬・バイオケミカル	3,330 (3,160)	465 (400)
その他	1,040 (1,020)	80 (85)

※上段:期央修正、下段:年初計画

東日本大震災からの自社復旧状況と業績への影響

- 商品供給体制は既に震災前のレベルまで回復。仙台工場は復旧の目処が立ち、グループ全体の損失も概ね年間の見通しが判明

●キリンビール仙台工場の復旧スケジュール

7月	電力復旧
9月26日	初仕込み
11月上旬	初出荷

【一番搾り とれたてホップ生ビール】



【コンセプト】今年とれたての岩手県遠野産ホップを贅沢に使用した、特別な一番搾り
被災地の方々に元気をお届けするため、復旧した仙台工場ですべてに製造するブランドは「一番搾り とれたてホップ生ビール」とする。販売活動も強化し、他工場も合わせて全体で対前年5割増を目指す

●東日本大震災関連損失(特別損失)は上半期169億円、年間200億円弱の見通し

会社	2Q特損	年間
合計	169	200億円弱
キリンビール	146	
キリンビバレッジ	11	
協和発酵キリン	3	
その他	8	

(億円)

Ⅱ 復興応援キリン絆プロジェクト ～被災地復興支援活動をスタート～

「絆を育む」をテーマに、被災地の皆さまの“地域社会の絆”や“家族の絆”を一層深めていただける様、今後は「地域食文化・食産業の復興支援」「子どもの笑顔づくり支援」「心と体の元気サポート」の3つの幹で活動を実施



国内酒類事業

■ 4月以降ビール類の販売が徐々に回復。下半期は、より一層のブランド強化と需要創造に取り組む

業績概況		第2四半期		通期計画(期央修正)	
		億円	対前年増減(%)	億円	対前年増減(%)
麒麟ビール	売上高	3,470	△6.8	7,821	△5.3
	営業利益	268	19.9	660	△5.6
メルシャン	売上高	357	1.6	730	△6.1
	営業利益	7	—	10	355.9

販売概況 (対前年増率)	第2四半期	通期計画 (期央修正)	通期計画 (期初)	市場予測 (期央修正)	市場予測 (期初)
ビール類	△5.3	△4.6	△2.4	△5%程度	△2～△3%程度
ビール	△6.1	△3.9	△5.3	△7%程度	△4%程度
発泡酒	△9.5	△9.7	△11.4	△12%程度	△12%程度
新ジャンル	△0.5	△0.7	8.6	△1%程度	+5%程度
ワイン ※	103	106	106	前年をやや上回る	前年をやや上回る

(単位: %、※ワインは前年比表示)

- ・震災後、ビール類は4月以降徐々に販売を回復。ワインはデイリーワインが好調を持続した。震災の影響もあり限界利益は減少するも、販促費等のコントロールによりカバー
- ・下半期は、投資の選択と集中により定番ブランド・伸張カテゴリーをより一層強化。引続きコストコントロールも強化し、震災による営業利益への影響を最小化するとともに、来期の成長に向け、お客様のさらなる需要創造にも並行して取り組む

国内飲料事業

■収益構造改革を継続、中核ブランドを中心に販売も堅調。下半期は震災により延期した新商品の発売等によりさらに販売を強化

業績概況		第2四半期		通期計画(期央修正)	
		億円	対前年増減(%)	億円	対前年増減(%)
キリンビバレッジ	売上高	1,475	△10.7	3,295	△5.9
	営業利益	△8	—	40	50.8

販売概況(前年比)	第2四半期	通期計画 (期央修正)	通期計画 (期初)	市場予測 (期央修正)	市場予測 (期初)
合計	98%	100%	105%	—	—
(国内計)	98%	101%	104%	99%前後	99%前後
紅茶	112%	105%	101%		
コーヒー飲料	96%	110%	108%		
日本茶	88%	97%	111%		
水	115%	122%	105%		
(海外計)	119%	78%	129%		

(単位: %、前年比表示)

- ・中核ブランド「午後の紅茶」「ファイア」が好調を持続したほか、震災発生後の水・日本茶への需要の高まりにより、全体でほぼ前年並みの販売を達成
- ・下半期は引き続き収益構造改革を推進。中核ブランドを中心に販売をさらに強化するとともに、来期の成長に向け、震災により発売を延期した新商品も順次投入

海外酒類・飲料事業

■ライオン酒類事業は持続可能な成長を目指し、引き続きブランド強化に取り組み、飲料事業は中長期的な成長実現に向け、構造改革を加速。今期は足元の厳しい事業環境を織り込み通期計画を修正、達成を目指す

LION		第2四半期(10年10月 - 11年3月)		通期計画(期央修正)	
		億円	対前年%	億円	対前年%
売上高	酒類	969	△5. 6	1, 963	5. 7
	飲料	1, 189	88. 1	2, 363	27. 2
		2, 159	30. 1	4, 327	16. 4
営業利益	酒類	126	△16. 2	234	△8. 4
	飲料	4	△31. 2	△18	—
	本社費用	△25	—	△72	—
		106	△23. 4	143	△29. 6

酒類

・物価やユーティリティコスト上昇に伴う消費者の将来への不安を反映した買い控えに加え、冷夏、洪水、ニュージーランド地震などの災害影響により、市場全体がマイナス。それに伴い、LION酒類事業トータルの販売数量も減少

・一方、ブランドマネジメントの成果により、ニュージェネレーションブランドのXXXX Summer Bright Lager、糖質オフのHahn Super Dry 3.5、Tooheysブランドの低アルコール飲料であるTooheys Extra 5 Seedsなどが順調に成長。またプレミアムシフトの継続等により1L当りの単価は3%アップ

・ニュージーランドでは、生産拠点を北島のThe Prideと南島のSpeight'sに集約し、Canterburyは物流拠点へ機能変更

飲料

・消費マインド冷え込みから、消費者の低価格商品へのシフトが加速し、特にホワイトミルクで低価格PBが拡大。調達における乳価変動対策、コアブランドへの集中投資をはじめとした効率的な事業運営に向けた構造改革を継続。

・フレーバードミルク、機能性ヨーグルトなど高付加価値商品への活動を強化。全国ブランドとして育成中のDare(+70%)、ヘルスコンシャスなお客様への提案商品Forme(+20%)が好調。また、営業活動の変革・効率化に向け、IT装備強化等を推進。

・生産拠点最適化の一環として、チーズ製造拠点の見直しを3月発表(2015年完了予定)。完了後の全飲料事業製造拠点数:31※→16

※2008年Dairy Farmers買収時国内総拠点数

医薬・バイオケミカル事業

■上半期の好業績を反映し、通期計画を上方修正

業績概況		第2四半期		通期計画(期央修正)	
		億円	対前年増減(%)	億円	対前年増減(%)
協和発酵キリン	売上高	1,863	△8.4	3,420	△17.3
	営業利益	313	33.0	465	△4.6

主要医薬品 売上高概況		1-6月実績		通期計画(期央修正)		通期計画(期初)	
		億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)
腎	ネスプ/エスポー	282	120	561	107	509	97
	レグパラ	53	124	111	117	111	117
免疫・アレルギー	アレロック	181	130	290	108	298	111
	パタノール	86	183	116	154	102	135
がん	グラン/ノイアップ ※	67	93	145	101	145	101
循環器系	コニール	96	93	197	94	199	95

※ノイアップについては、2010年3月1日付で製造販売に係る権利等をヤクルト本社に承継

- ・主力医薬品である腎性貧血治療剤「ネスプ」が好調に推移したほか、花粉飛散量増加により抗アレルギー剤等が当初計画を大きく上回る
- ・上半期の好業績を反映し、通期計画を上方修正
- ・4月に完全子会社化した英国ProStrakan社は下半期より連結を開始

中期経営計画課題の取り組み状況

■収益性・効率性向上への取り組みを継続、年初計画完遂により更なる成果の上積みへ

CCTコストシナジー

(単位 億円)

	年間目標	第2四半期 (実績)	進捗率(%)
生産・物流	47	31	66
調達	40	22	56
IT他	7	4	61
合計	94	57	61

事業ポートフォリオの選択と集中

- ・協和発酵ケミカルの全株式を売却 (3月)
 - ・メルシャン水産飼料事業を譲渡 (4月)
 - ・キリンオーストラリア(※)の株式を譲渡 (4月)
 - ・メルシャン医薬・化学品事業を譲渡 (7月)
- (※豪州のモルト製造子会社)

資産流動化

- ・投資有価証券
- ・子会社株式
- ・土地・その他

113億円
551億円
174億円

年初目標
700億円

第2四半期実績
839億円

年間計画
(期央修正)
約1,000億円

国際総合飲料グループ戦略～中国・東南アジアにおける取り組み～

【シンガポール】

キリンホールディングス・シンガポール
Fraser and Neave社
キリンビバレッジ

販路共有によるグループ商品の拡売を中心に
取り組む。商品共同開発への取り組みも推進



【中国】

華潤創業有限公司
キリンビバレッジ

華潤創業社との合弁会社設立(※)後は、同社
販売網を活用したキリンブランド商品拡売の早
期実現を目指すとともに、共同商品開発等にも
取り組む

(※8月中に完了の予定)



【ベトナム】

ベトナムキリンビバレッジ
Interfood社

グループ内における販売・製造機能共有化
にむけた取り組みを推進



【フィリピン】

San Miguel Brewery社

フィリピン国内において、引き続き安定した成
長を持続。同社の海外事業基盤強化や新た
なシナジー創出に向け、引き続き連携して取
り組む



ブラジル・スキンカリオール社子会社化～戦略的意義～

■引き続きアジア・オセアニアを最重点エリアとしながら、将来のさらなる成長に向けて、有望な新興市場の基盤を獲得し、国際総合飲料グループ戦略を推進

1. 成長性と市場規模を兼ね備えるブラジルのビール・清涼飲料市場において事業基盤を獲得
 - ・ブラジルのビール・清涼飲料は金額ベースでそれぞれ567億レアル(約2.8兆円^{※1})、577億レアル(約2.9兆円^{※1})、数量ベースでそれぞれ1,260万キロリットル、2,300万キロリットルと推計される大市場であり、今後も人口増加及びそれを上回る所得増加により、それぞれ金額ベースで年率10%、12%の成長が見込まれる魅力的な市場^{※2}
2. スキンカリオール・グループはビール・清涼飲料領域の両方で、ブラジル全土にわたる強固な事業基盤と一定の規模を持つ有数の企業群
 - ・スキンカリオール・グループはビールで2位(シェア約15%)、清涼飲料は炭酸飲料で3位(シェア約5%^{※3})。ビールの製品領域では、プレミアムからエコノミーまで広範にカバー、地域別では近年所得増加による成長が著しい北東部で強い基盤を有する
 - ・ブラジル国内に13の製造拠点を保有し、その大半は2000年代に建設の最新鋭設備
 - ・自社配送網及び独占的な契約に基づくディストリビューターを活用した流通ネットワークで、販売量の8割をカバー
3. キリングroupの強み(技術力、リサーチ・マーケティング力、商品開発力)を生かすことにより、成長市場において、既存ブランドの育成や付加価値のある新商品投入に取り組み、同社のさらなる成長を推進。年率10%の売上高成長を見込む

注: 1 1レアル=50.35円(2011年8月1日現在)、 2 Euromonitor等をもとに推定、 3. オフトレード・ベース

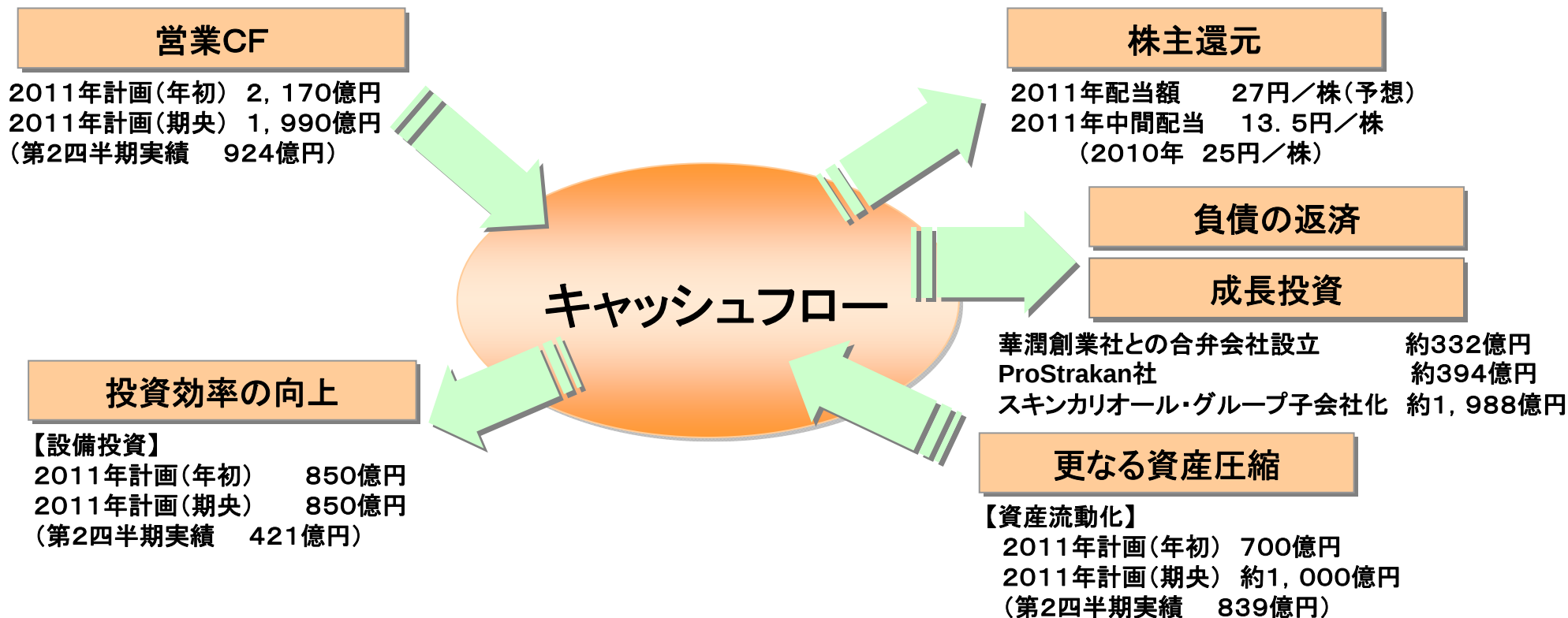


SCHINCARIOL



2011年財務戦略

■資産流動化は積極的に推進し第2四半期実績時点で年初計画を上回る。期末DEレシオはスキンカリオール・グループの子会社化後も1.0倍以内を見込む



- 株主還元 ①配当: 連結配当性向30%以上。成長投資によるのれん等の償却影響を勘案し、実質的利益水準の向上に伴う配当の増額を目指す
- ②自己株式取得: 中長期的な信用格付維持を前提に、質的拡大の進捗等を勘案した上で検討
- 資本構成 DEレシオは、スキンカリオール・グループの子会社化を有利子負債で対応しても、上限目安の1.0範囲内に収まる予定(※2011年末のDEレシオは0.94を見込む)
- 成長投資 中計・KV2015の方向性に沿う投資案件は、事業の収益性と投資効率を考慮した上で積極的に検討

おいしさを笑顔に

KIRIN

補足資料

- ・2010－2012年中期経営計画指標
- ・2011年 セグメント別売上高・営業利益一覧
- ・2011年のれん等一覧(年間計画)
- ・各社連結期間
- ・麒麟ビール 概況
- ・メルシャン 概況
- ・麒麟ビバレッジ 概況
- ・国内酒類・国内飲料事業 商品情報
- ・キリンググループ 国内主要製造拠点(酒類・飲料)
- ・ライオン上半期実績および年間計画修正の要因
- ・抗体医薬パイプライン(2011年8月2日現在)
- ・サンミゲルビール社 概況

2010－2012年 中期経営計画指標

		2011年 第2四半期 (実績)	2011年 年間計画 (期央修正)	2011年 年間計画 (期初)	2012年末 計画
売上高	酒税抜き 下段:対前年増減	8,571億円 0.1%	17,820億円 △2.9%	18,100億円 △1.4%	21,300億円 —
営業利益	のれん等償却前 下段:対前年増減	957億円 20.1%	1,913億円 △1.1%	1,943億円 0.4%	2,310億円 —
EBITDA 下段:対前年増減		1,340億円 28.3%	2,940億円 9.1%	3,120億円 15.8%	3,410億円 —
営業利益率(%)	対酒税抜き・のれん等償却前	11.2	10.7	10.7	10.8
	対酒税抜き・のれん等償却後	8.5	8.1	8.4	8.8
ROE(%)	のれん等償却前		10.4	10.5	10%以上
	のれん等償却後		5.3		
EPS(円)	のれん等償却前		112	113	
	のれん等償却後		54		
海外比率(%)	酒税抜き売上高	32	30	30	29
D/Eレシオ		0.74	0.94	0.65	0.5
総資産回転率	酒税抜き売上高		0.64	0.70	0.80以上

2011年 セグメント別売上高・営業利益一覧

	売上高			営業利益		
	第2四半期	年間計画 (期央修正)	年間計画 (年初)	第2四半期	年間計画 (期央修正)	年間計画 (年初)
国内酒類事業	3,923 (△6.4)	8,780 (△5.4)	9,080 (△2.2)	288 (29.0)	700 (△4.4)	735 (0.4)
国内飲料事業	1,457 (△12.5)	3,270 (△6.0)	3,420 (△1.7)	△10 (—)	40 (63.1)	55 (124.2)
海外酒類・飲料事業	2,325 (27.6)	4,680 (15.8)	4,720 (16.8)	114 (△22.1)	170 (△25.8)	260 (13.5)
医薬・バイオケミカル事業	1,811 (△9.9)	3,330 (△17.9)	3,160 (△22.1)	313 (33.0)	465 (△4.6)	400 (△17.9)
その他事業	496 (21.0)	1,040 (13.1)	1,020 (10.9)	31 (△20.4)	80 (△1.3)	85 (4.9)
全社費用 ・セグメント間取引消去				△9 (—)	△15 (—)	△15 (—)
合計	10,014 (△0.9)	21,100 (△3.1)	21,400 (△1.7)	728 (21.7)	1,440 (△5.0)	1,520 (0.3)

上段：実績または予想(億円)

下段：前年増率(%)

2011年のれん等一覧(年間計画)

(単位:億円)

		取得年	のれん等償却額合計 ①+② ※1						
			のれん			ブランド			
			償却額①	未償却 残高	残年数	償却額② ※2	未償却 残高	残年数	
連結子会社	ライオンネイサン	1998	25	168	7	61	72	11	87
	ライオンネイサン(営業権)	1998	10	10	1	—	—	—	10
	ライオンネイサン(完全子会社化)	2009	143	2, 582	18	—	—	—	143
	ジェイ・ボーグ・アンド・サン	2008	14	89	7	5	32	7	19
	ナショナルフーズ	2007	66	1, 088	17	28	402	17	95
	キリンビバレッジ	2006	19	289	15	—	—	—	19
	協和発酵キリン	2007	62	1, 009	17	—	—	—	62
	その他		35	—	—	—	—	—	35
	連結子会社計		378			95			473
持分法	サンミゲルビール	2009	59	1, 047	18	16	284	18	76
	フレイザー・アンド・ニーヴ	2011	11	283	20	—	—	—	11
	持分法適用関連会社計		70			16			87
合計			449			111			561

※1:指標等における「のれん等償却」

※2:科目:減価償却費

各社連結期間

●2009年

	2008年				2009年											
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
麒麟ホールディングス																
協和発酵麒麟																
ライオンネイサン																
ナショナルフーズ																
サンミゲルビール																
サンミゲル																

●2010年

	2009年				2010年											
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
麒麟ホールディングス																
協和発酵麒麟																
ライオンネイサン ナショナルフーズ(酒類)																
ライオンネイサン ナショナルフーズ(飲料)																
サンミゲルビール																

●2011年

	2010年				2011年											
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
麒麟ホールディングス																
協和発酵麒麟																
ライオン(酒類)																
ライオン(飲料)																
サンミゲルビール																
フレイザー・アンド・ニーヴ																

麒麟ホールディングス決算期間

連結子会社

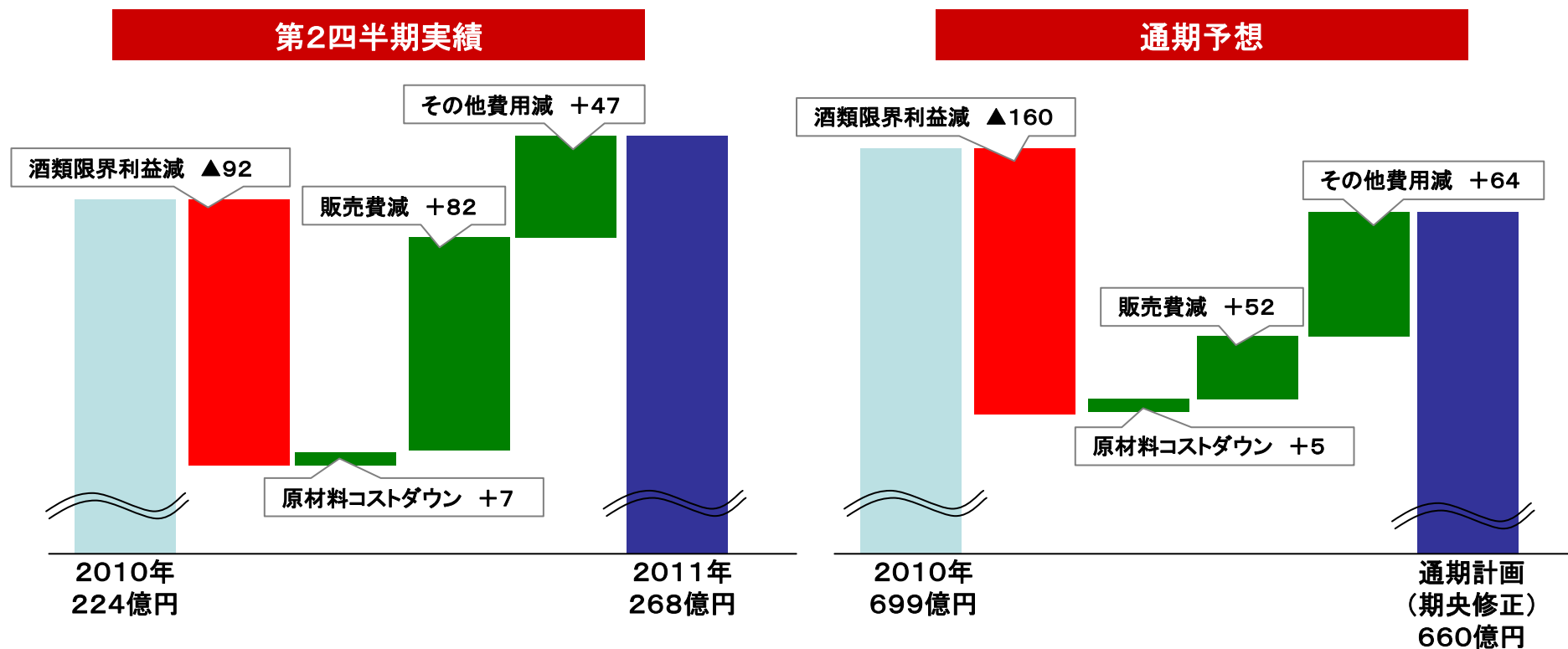
持分法適用関連会社

麒麟ビール 概況

1. 上半期販売状況・年間計画

	1－3月		4－6月		1－6月		年間計画(期央修正)	
	千KL	対前年%	千KL	対前年%	千KL	対前年%	千KL	対前年%
合計	385	△9. 0	529	△2. 4	914	△5. 3	2, 054	△4. 6
ビール	131	△8. 1	179	△4. 3	310	△6. 1	722	△3. 9
発泡酒	119	△13. 2	162	△6. 4	281	△9. 5	597	△9. 7
新ジャンル	134	△5. 9	188	3. 9	322	△0. 5	735	△0. 7

2. 営業利益増減



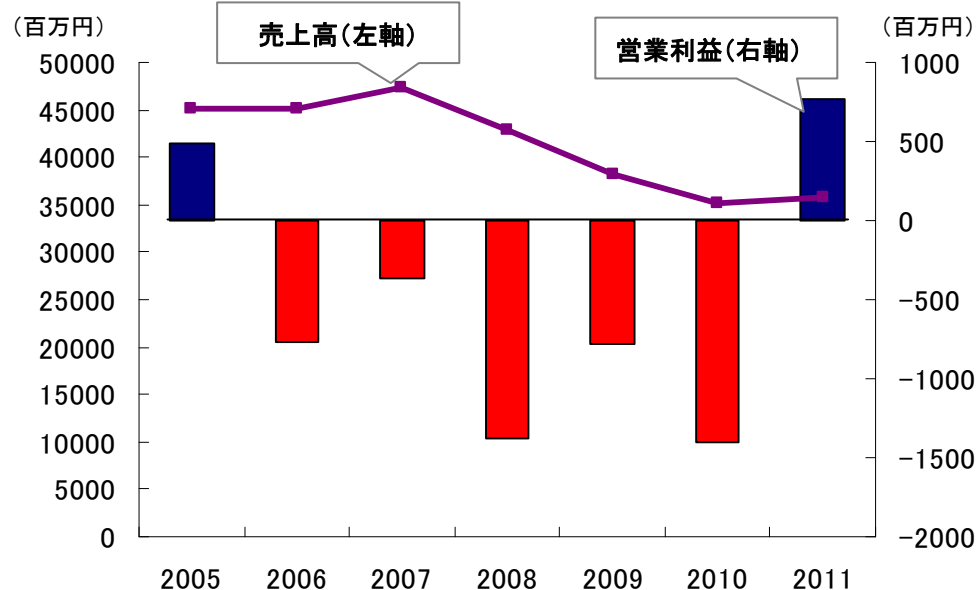
メルシャン 概況

1. ワイン 上半期販売状況・年間計画

	1－3月	4－6月	1－6月	年間計画	
	対前年%	対前年%	対前年%	千%	対前年%
合計	101%	105%	103%	595	106%
国産	104%	111%	111%	356	108%
輸入	96%	97%	97%	239	103%
デイリー	102%	106%	104%		
ファイン	81%	89%	85%		

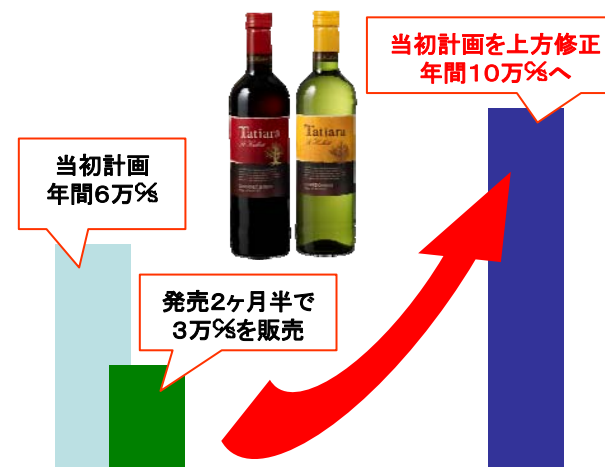
2. その他情報

第2四半期黒字化



グループシナジー発揮

LION社との共同開発商品が好調



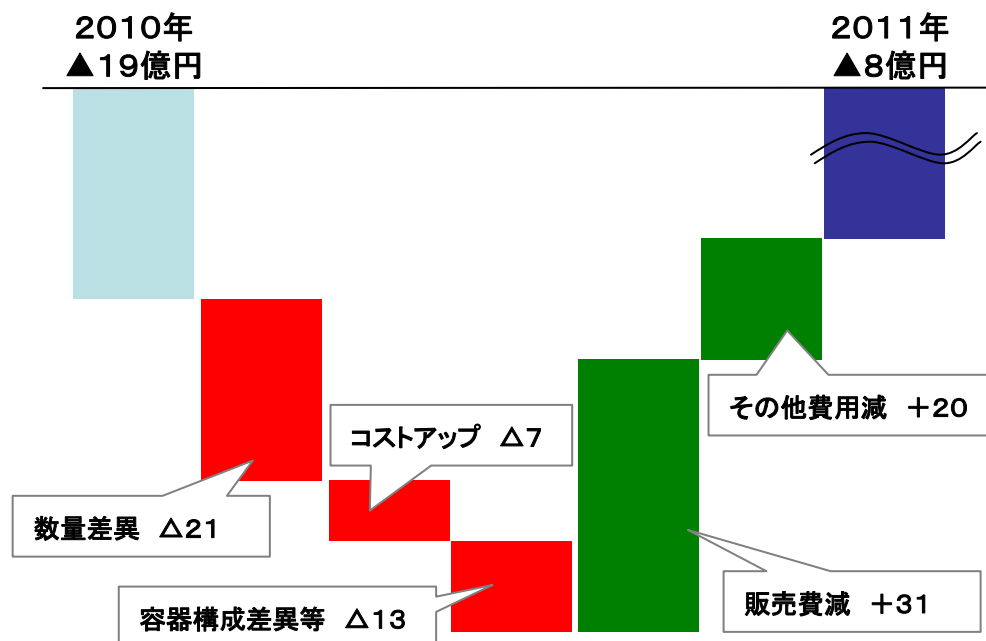
麒麟ビバレッジ 概況

1. 国内市場 上半期販売状況・年間計画

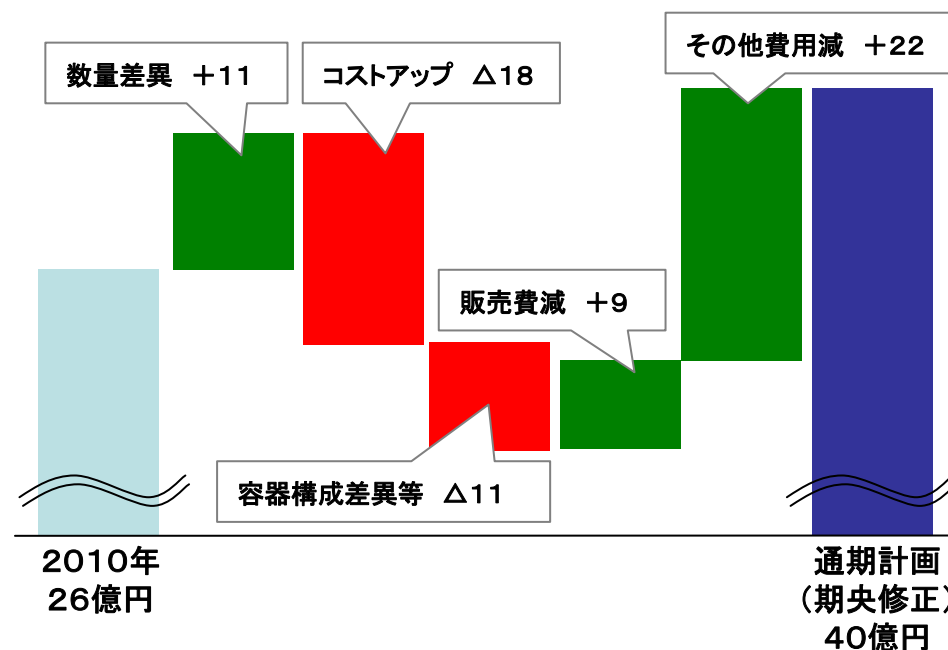
	1－3月		4－6月		1－6月		年間計画(期央修正)	
	万%	前年比	万%	前年比	万%	前年比	万%	前年比
合計	3,501	98%	4,401	97%	7,902	98%	17,660	101%
紅茶	990	105%	1,258	119%	2,248	112%	4,680	105%
コーヒー飲料	719	91%	860	100%	1,579	96%	3,670	110%
日本茶	384	94%	537	84%	921	88%	2,150	97%
水	604	102%	889	126%	1,493	115%	3,460	122%

2. 営業利益増減

第2四半期実績



通期予想



国内酒類・国内飲料事業 商品情報

1. 下半期 主な新商品／リニューアル商品

キリンビール

ビール類



RTD



キリンビバレッジ



2. メルシャン 主力商品一覧(デイリーワイン)

国産



輸入



キリングループ 国内主要製造拠点(酒類・飲料)

● キリンビール各工場

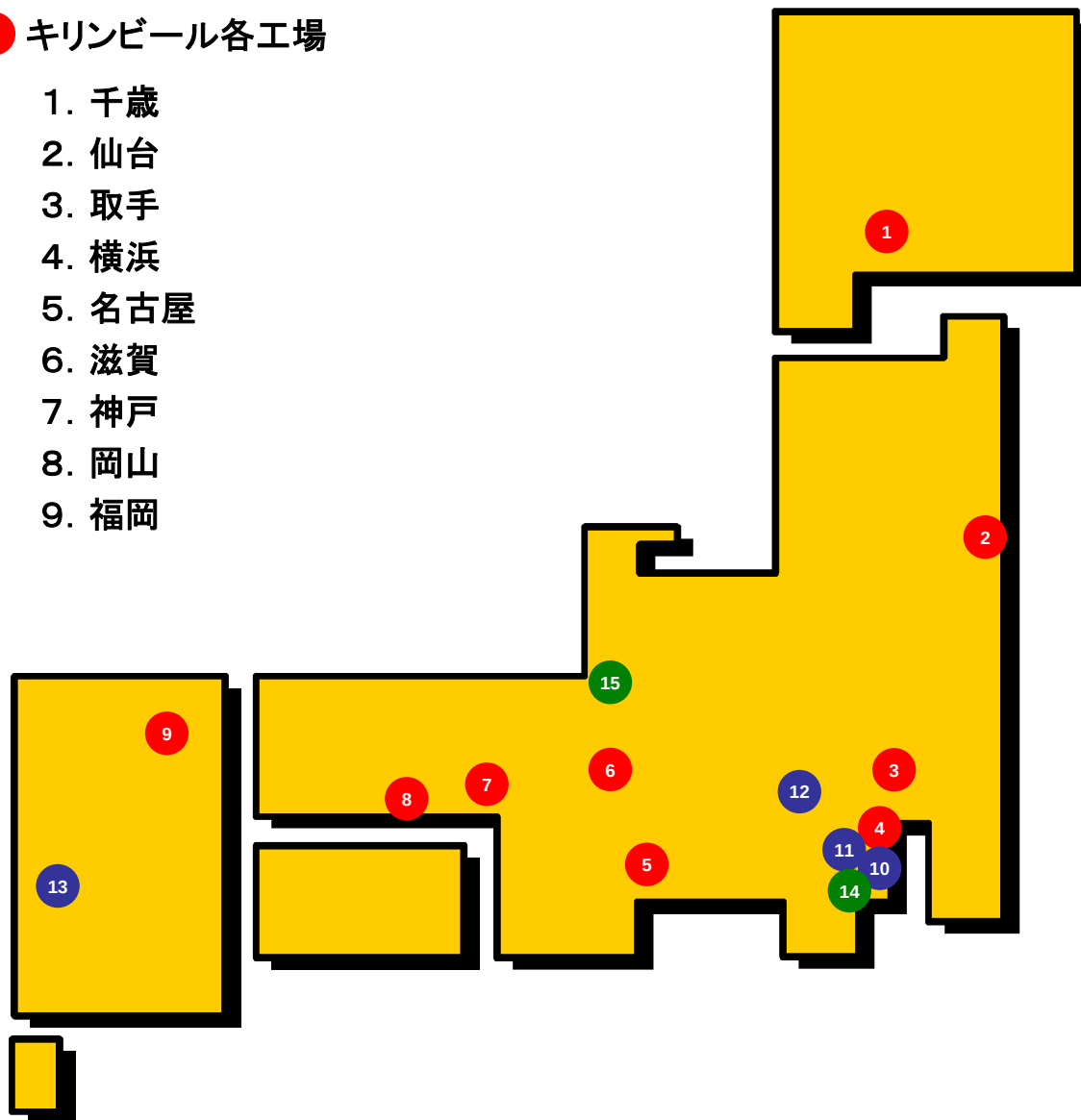
1. 千歳
2. 仙台
3. 取手
4. 横浜
5. 名古屋
6. 滋賀
7. 神戸
8. 岡山
9. 福岡

● その他酒類

10. メルシャン藤沢工場
11. キリンディスティラリー富士御殿場蒸留所
12. シャトーメルシャン
13. メルシャン八代工場

● 清涼飲料

14. キリンビバレッジ湘南工場
15. キリンビバレッジ舞鶴工場



LION 2Q実績・通期予想修正の主な要因

2011年第2四半期実績【現地通貨ベース(連結組替後)】

(単位:百万豪ドル)

営業利益 (のれん・ブランド償却前)	10/10-11/03	対前年増減	主な要因	
酒類	308	△31	販売数量減 原材料コストダウン その他	△45 6 8 (販売数量△8.2%)
飲料	62	19	販売数量減 * 原材料コストアップ * その他 * 決算期変更の影響	△43 △34 62 34 (販売数量△13.4%) (2011年1Q実績)

* 前年同期比:1-3月(3ヶ月)

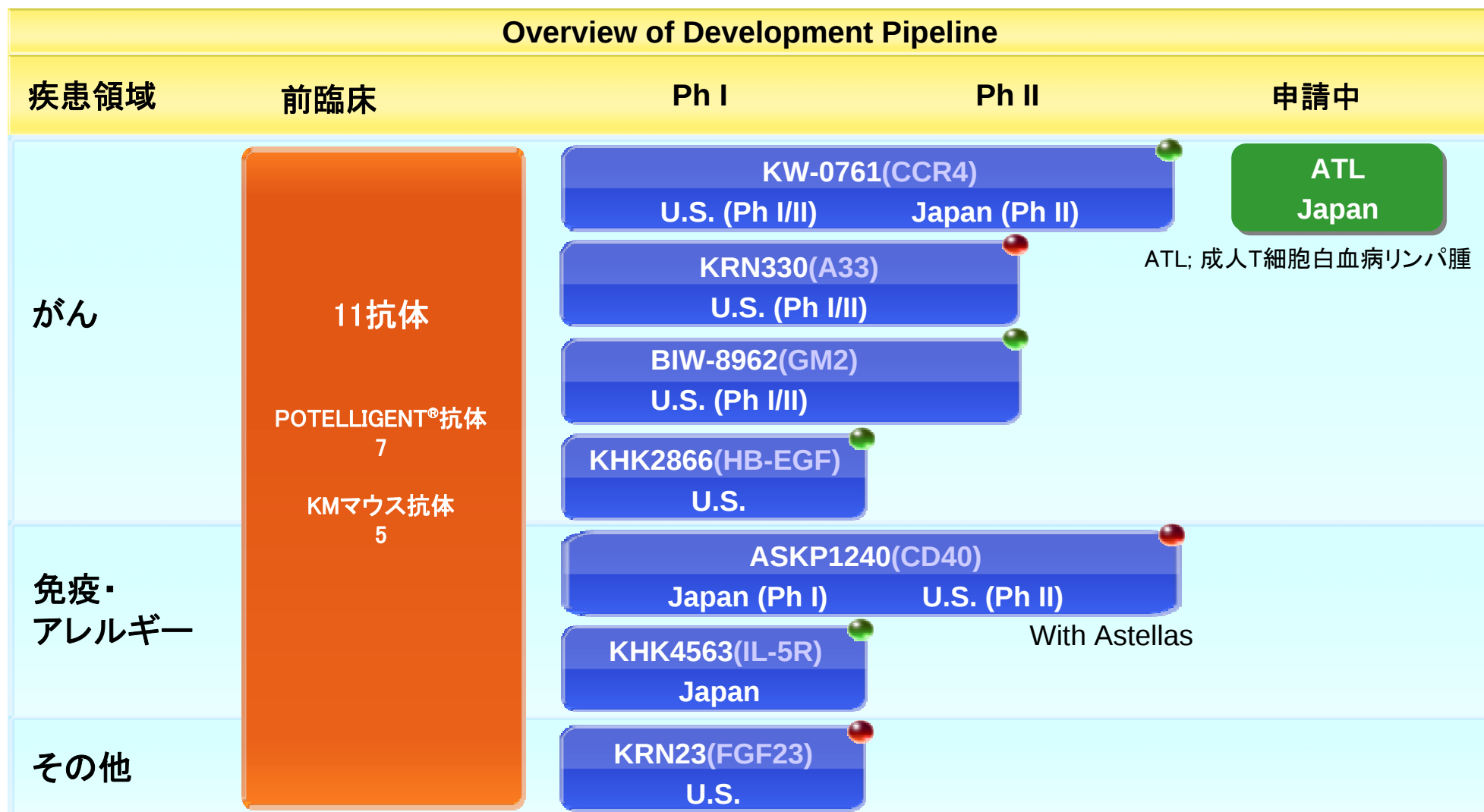
2011年通期予想修正【現地通貨ベース(連結組替後)】

(単位:百万豪ドル)

営業利益 (のれん・ブランド償却前)	10/10-11/09	対前年実績増減	主な要因	
酒類	582	△45	販売数量減 原材料コストダウン その他	△26 2 △21 (販売数量△2.7%)
飲料	91	△7	販売数量減 * 原材料コストダウン * その他 * 決算期変更の影響	△70 42 △13 34 (販売数量△16.5%) (2011年1Q実績)

* 前年同期比:1-9月(9ヶ月)

抗体医薬パイプライン(2011年8月2日現在)

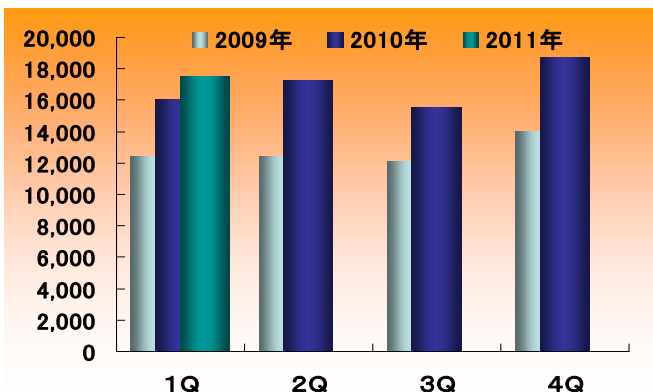


● : POTELLIGENT®技術

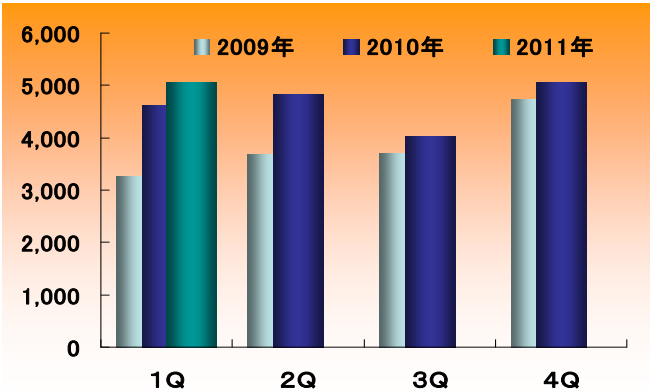
● : KMマウス技術

サンミゲルビール社 概況

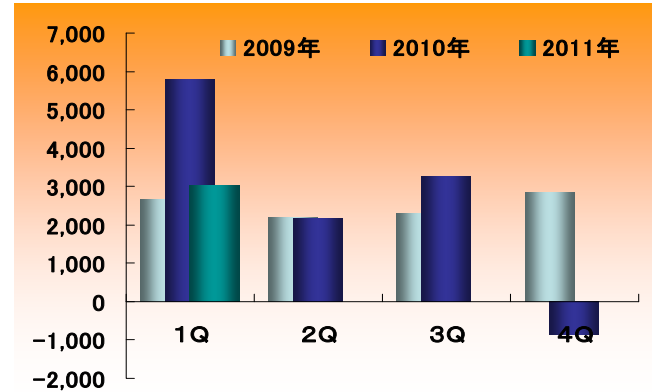
SALES



OPERATING INCOME



NET INCOME



(単位:百万フィリピンペソ、出典:サンミゲルビール社ホームページ)

- 累月販売数量は好調に推移。フィリピン国内経済は成長率がやや鈍化するものの引続き好調であり、消費も堅調に推移。穀物・砂糖等の価格高騰による農民所得上昇も販売好調に寄与

サンミゲルビール主要ブランド

Upper
Premium



Premium



Upper
Popular



Popular



Economy



Non-
Alcoholic

